



21 世紀型教養教育プログラム 「START プログラム」 募集要項

本プログラムでは、SDGs に先進的に取り組んでいる企業による講義や、グループワーク、グループ発表、現地フィールドワークなどを行います。プログラムへの参加を通じて、①問いをデザインする力、②固有の学問領域にとらわれない思考、③社会のために行動する実践力を身に付けることができます。また、プログラムには受講学生のほか、社会人も参加します。社会人との対話を通して、自身の考え方を広げることもできます。

参加を希望する方は、以下の要領により申請を行ってください。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染状況等によっては、現地フィールドワークをオンラインフィールドワークに切り替える等プログラムの内容を変更する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

※本プログラムの単位認定はありません。

1 対象

(1) 対象大学

法政大学、関西大学、明治大学、千代田区キャンパスコンソ構成大学(※)に所属する学部生

※大妻女子大学・同大学短期大学部、共立女子大学・同短期大学、東京家政学院大学、二松学舎大学

(2) 対象学年・学部

全学部、全学年対象 ※定員を上回った場合、1・2 年次を優先します。

2 募集定員・期間

(1) 募集定員

100人(定員を上回った場合、1・2 年次を優先し、応募内容等に基づき選考を行います。)

(2) 募集締切

2023年6月30日(金)

3 プログラム内容

(1) プログラム

①ゼミナール編

a. 全体ワーク

講師による講義、現地フィールドワーク、グループワーク、グループ発表

b. 企業別ワーク

講師企業による講義、グループワーク、グループ発表

c. (共通テーマワーク)

大学および講師企業による講義、グループワーク、グループ発表

②思考力養成編

SDGs 科目の履修、SDGs オンデマンドコンテンツの視聴、SDGs 書籍の読書

(2)実施方法

原則対面(会場は市ヶ谷キャンパス) ※状況に応じてオンライン(Zoom)を併用

(3)活動期間

2023年7月～2024年2月 ※学期中は、学業に支障のない範囲での活動となります。

4 講師企業・テーマ(仮)

(1)株式会社日本旅行(全体ワーク講師)

脱炭素社会に向けて大学生・高校生の行動変容につながる旅とは

(2)株式会社セブン&アイ・ホールディングス(企業別ワーク講師)

自然共生社会と持続可能な調達を考える

～2100年にも、「おいしい魚を楽しめる社会」の為にできること～

(3)三井住友海上火災保険株式会社(企業別ワーク講師)

地方創生につながる地域企業のSDGs取組み

(4)株式会社みずほフィナンシャルグループ(共通テーマワーク講師)

※(1)および(4)は全員参加、(2)および(3)については、どちらか1社への参加となります。

5 申請方法

(1)以下のGoogleフォームへアクセスし、必要事項を入力の上、申請してください。

URL: <https://forms.gle/apfn5WEfums8WStE8>

(2)募集締め切り後、受講可否の連絡メールを送付します。

※7月7日(金)に、総長室付教学企画室からメールを送信します。メールが届かない場合は、問い合わせ先までご連絡ください。

6 選考について

(1)募集定員を超えた場合、「5 申請方法」で提出された内容に基づき選考を行います。

(2)申請に不備がある場合の連絡や、受講可否等の重要な連絡はメールで行うため、定期的にメールを確認してください。

7 プログラムスケジュール(予定)

2023年6月30日(金)	募集締切
7月7日(金)	受講可否通知
7月12日(水)	オリエンテーション
8月2日(水)	ゼミナール編第1回目(全体ワーク)
8月9日(水)	ゼミナール編第2回目(全体ワーク) ※18時~18時30分
8月21日(月)~22日(火)	ゼミナール編第3回目(全体ワーク) ※現地フィールドワーク
9月13日(水)	ゼミナール編第4回目(全体ワーク)
9月27日(水)	ゼミナール編第5回目(企業別ワーク)
10月11日(水)	ゼミナール編第6回目(企業別ワーク)
10月25日(水)	ゼミナール編第7回目(企業別ワーク)
11月8日(水)	ゼミナール編第8回目(企業別ワーク)
11月22日(水)	ゼミナール編第9回目(共通テーマワーク)
12月6日(水)	ゼミナール編第10回目(共通テーマワーク)
12月20日(水)	ゼミナール編第11回目(共通テーマワーク)
2024年1月10日(水)	ゼミナール編第12回目(共通テーマワーク)
2月24日(土)	最終発表会 ※13時~17時

※原則、18時~19時40分に市ヶ谷キャンパスにて実施します。詳細は参加者に追って通知します。

8 プログラム参加費用

現地フィールドワーク参加に係る費用については自己負担となりますが、一部補助があります。
(自己負担は最大2万円を想定していますが、確定した金額は参加予定者にお知らせいたしません。)

保険は学生教育研究災害傷害保険が適用されます。

9 プログラム実施体制

コーディネーター: 金藤 正直 教授(人間環境学部)

事務局: 法政大学 SDGs+(プラス)推進特設部会事務局(総長室付教学企画室)

10 問い合わせ先

法政大学総長室付教学企画室

電話: 03-3264-9931 Email: kyogaku@hosei.ac.jp

※メールで問い合わせる場合は、必ず件名(START プログラムに関して)・氏名・所属・学年・学生証番号を明記してください。

以上